

千葉市女性のためのつながりサポート事業【千葉市】

個別事業費	12,623 千円
交付金額	6,309 千円

地域の実情と課題

男女共同参画センターでの女性相談の相談者の年齢構成は、多くが30代～60代であり、10代、20代の方の相談に十分に応じられていない。また、教育委員会や福祉等の分野において、ターゲットを絞った相談を実施しているが、複合的に困難を抱える女性に対し、NPO等の民間団体の知見を活用し、アウトリーチ型の訪問支援や同行支援等も含む、相談者に寄り添ったきめ細やかな支援を行うことが必要である。

目的・目標

困難や不安を抱えている女性に対し、居場所の提供や寄り添った相談・支援ができるよう事業を実施する。また、NPO等の知見や能力を活用して、アウトリーチ型支援等を実施する。

【事業目標】

相談者数 (目標)延べ3,000人 (実績)延べ2,669人
 アウトリーチした人数(目標)延べ180人 (実績)延べ163人

事業の特徴

NPO等の知見や能力を活用して、様々な課題・困難を抱えた女性のもとに積極的に赴き、相談に応じるアウトリーチ型支援や同行支援等、行政では対応が難しいきめ細かい支援を実施した。

連携団体

アウトリーチ型支援(訪問支援)や同行支援において、生活自立・仕事相談センターや、こども食堂など、様々な庁内外の福祉関連事業等と連携し対応した。また、男女共同参画センターにおいても当該事業の周知をチャットボットを活用して行い、連携を図った。

事業の効果

様々な困難・課題を抱える女性に対し、アウトリーチ型支援や、SNS等多様な相談体制を整備し、相談・支援につながりやすい環境を作ることができた。また、居場所の提供や同行支援等、女性に寄り添った支援を実施することができた。

【実績】

- ・相談者数 延べ2,669人
- ・アウトリーチした人数 延べ163人

今後の課題

相談者の住所区が委託事業者の住所区に偏っているなど、支援が必要な方に事業が十分に周知されていない可能性がある。そのため、より幅広い層へ早期に支援を届けるために、周知方法やアプローチの工夫が求められる。

事業の概要

